**僕の絵・自分の世界３６**

**斬新な心　自分の世界を描こうと思った**

**八月になったから　八月一日を穂積と知ったから**

**われらは黄いろい人種だが  
黄色い人種は古来のんき過ぎたので  
善良は馬鹿と見られ  
とんちきはずるいと見られ  
沈黙は無思想と見られ  
没法子（しかたがないや）と自分でも言つていたのだ  
日本は東亜の末つ子だが  
目がさめてから六十余年  
臥薪嘗胆といふ奴をやってゐたのだ  
めりめり勉強して待ってゐたのだ  
君等の手から東亜を自由にしたかつたのだ  
　　　　　　　　　　　　　　　（君等にあたふ／高村光太郎）**

**みちお・画**

**こんな斬新な詩を知った**

**八月六日になって　戦争を恨んで**

**自分の世界を探ってこんな絵になった**

**黒い榛名山　赤い赤城山　が見えない**

**台風がくる**

**斎藤さんに運転してもらっている**

**八月に入って二回も半田高架を走って県ALSOK　へ行っている**

**烏川が濁って　氾濫しそう**

**いぇーいというので  
いぇーいというと  
あなたそういう人  
じゃないでしょ  
と叱られる　　　　　　斎藤斉藤　作詩**

**やはり斬新な歌に戻り　斬新な心　自分の世界にこだわった**

**みちお・画**

**少し疲れている**

**自分の世界を明るくして　疲れをとって楽しく生きようと思う**

**いつもその繰り返し**

**色が心を示す　色でその時の心持がわかる**

**季節も　気温も風も人もみんなそうさせる**

**できることをしよう**

**できないことはできない　でしょう・・・**

**みちお・画**

**自分を立派だと思っているからではなく、**

**まったく逆の理由からだ**

**たとえば、自分の生い立ちや**

**老年であることや**

**自分の現状などあらゆることについて　　小池一夫**

**僕も自分を人前で卑下しない**

**自分の世界は自分の表現の絵なのです。**

**みちお・画**

**僕はできません！？**

**そんなことを口にすると　「そんなことないですよ」**

**言わせてしまう**

**だから自分の世界で自分で責任をとる**

**海があり　谷があり　畑が広がり　・・・**

**永躰敏明さんの絵を借りて自分の世界を自然に溶け込ませる**

**みちお・画**

**落ち着けば　同色になる**

**空になる**

**青空になって　歌う**

**ブルー・スカイ　スカイ・ブルー　季節は秋に向かうはず**

**みちお・画**

**夏も終わる**

**いや、まだ梅雨の風情**

**季節がわからなくなるほど自然が狂っている**

**人間が、自然が通り過ぎた時代を比較できない**

**「これが自然だ」**

**そう思えばいい**

**「これが自分だ」**

**こころを強く持とうとは思う**

**みちお・画**

**自分の世界が瞬時に変わる　美しい、あでやかな世界に　色に**

**容姿も才能もこれが自分なのだ**

**みちお・画**

**色が少しずつ変わっていく　代えてゆき**

**自分の世界を見て**

**みちお・画**

**季節も少しずつ変わって行くから**

**自分の世界に**

**みちお・画**

**八月の詩月がもう九月になろうとしている**

**これが今の自分の世界だ**

**みちお・画**

**平成二十九年八月詩日**

**みちお（七十四歳）**